

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学校名		岡山県立烏城高等学校		
実践者等		三澤 宏明	実践日	令和4年5月9日
実践場面 <small>(教科・科目(単元名)、学校行事等)</small>		数学・数学I (数と式: 数と式の計算)		
対象生徒 (学年等)		普通科1年		
育成を目指す資質・能力		<input checked="" type="checkbox"/> 知識・技能 <input checked="" type="checkbox"/> 思考力・判断力・表現力等 <input type="checkbox"/> 学びに向かう力・人間性等		
分類	授業中	<input type="checkbox"/> クラウドやアプリの活用 <input type="checkbox"/> デジタルデータの保存 <input type="checkbox"/> 思考やデータの可視化		
		<input type="checkbox"/> データの共有や共同編集 <input type="checkbox"/> 対話を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 思考を促す活用		
		<input type="checkbox"/> 表現を充実させる活用 <input type="checkbox"/> 課題のやり取りと評価の支援 <input type="checkbox"/> 効率化や省力化		
家庭学習		<input checked="" type="checkbox"/> その他 (プロジェクタの活用)		
実践の内容				
<p>【授業】</p> <p>(1) 例14 (式の展開) の解説</p> <p>教科書のデータをプリント配布しておき、黒板にも教科書のデータをプロジェクターを使って映す。</p> <p>例14をスクリーンに提示しながら解説し、式の展開で同類項をまとめることを解説する。さらに、図形的には長方形の面積を求めることと関係していることを視覚的に理解させる。</p> <p>(2) 別の解法で考えさせる</p> <p>多項式の乗法は筆算で解くことができることを説明する。</p> <p>実際に筆算で解かせることと数のかけ算の筆算に似ていることを示して理解の助けとする。</p> <p>(3) 練習問題を解かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導を行い、生徒の理解の状況を把握する。 ・ペアワークで、相手に自分の考え方を説明する。 ・WBに練習問題で解いたものを発表する。 <p>(4) 本時の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のまとめを行い、本時の気づきをプリントにまとめさせる。 				
<p>【本時と家庭学習との連動】</p> <p>(本時前) プリントにある教科書の説明事項を確認し、例の問題の解答を白紙に編集してあるのでそれを解いてくる。</p> <p>(本時後) 本時に取り組んだ問題で理解が不十分な生徒は解法のふりかえりを行う。理解が十分な生徒は、類題や応用問題を解く。</p>				

